

### 第3回桐生市史編さん審議会 議事録

日 時：令和4年10月13日（木）午後1時30分～午後2時20分

会 場：桐生市立中央公民館403号室

出席者：別添名簿のとおり

#### 1. 開会

#### 2. 『新編 桐生市史』編さん基本計画（案）について

- ・第2回審議会で出された意見や提案をもとに、編集委員会において再協議し修正を加えた基本計画案について、資料に基づき事務局から説明した。

#### 【主な質疑応答】

##### [副会長]

- ・前回の審議会で見解を申し上げた特別編『桐生の織物』について検討いただいたが補足として申し上げたい。整経機を作る会社が桐生にある。織物では織機と整経機はセットであり、戦前は整経機を作る会社が多くあり、戦後も十数社が整経機を作っていたそうである。整経機は長持ちする機械なので他の業態に転換していった企業が多く、現在、市内では1社しか残っていない。この会社の大型整経機は世界中に輸出しており、二十数年前に桐生市の姉妹都市である毛織物産地のビエラ市に視察に行った際、当地の工場にこの会社の大型整経機が2台あり大変感銘を受けたことがある。桐生の企業は、織物を基幹としていろいろな産業に派生し、世界に羽ばたいている。このようなストーリーも含めて編さんしていただきたい。

##### [委員]

- ・特別編『絵図・地図・写真』について、『館林市史』では市制60周年を記念して『写真で見る館林』を別巻で刊行している。写真を絵図・地図とまとめて刊行するのは無理があるのではないか。
- ・写真を市制110周年記念として別巻扱いとした方がいいのではないか。その方が写真資料も集めやすい。
- ・絵図・地図について、前回は意見を出したが、桐生・大間々・笠懸・新里・黒保根・東は一体的に取り扱わなければ、理解しにくいものになるのではと危惧している。その点は、もう一度ご検討いただきたい。
- ・索引に加え、年表を作成してはどうか。索引に年表をつけた方が合理的かと思う。

##### [事務局]

- ・写真については、資料収集を進める中で、どれだけ集まるかということが前提となり、これからの収集状況を見ながら、『写真』として独立させるか、もしくは『絵図・地図・写真』とするかを検討することになる。この点については、まずは編集委員会でご協議いただけるものと考えている。
- ・年表や索引の扱いについては、編集・刊行が進んでいく段階で考えたい。

[会長]

- ・ 前回の審議会で基本計画案の大筋はご賛同いただき、出された意見については編集委員会で議論のうえ、今回の修正案のご報告をいただいた。修正点を含めて認めていただけるということでまとめてもよろしいでしょうか。

[委員]

- ・ 意義なし

[会長]

- ・ 次第の「2. 『新編 桐生市史』編さん基本計画（案）について」は、委員の方々の了承を得たということで扱わせていただきたい。ありがとうございました。
- ・ なお、今年度の審議会は、今回をもって最終回となるため、委員の皆様のご同意をいただければ、お認めいただいた基本計画案に係るご意見やご提案もあわせて、会長・副会長に一任させていただく形でお預かりし、答申としてまとめたいと思うがよろしいでしょうか。

[委員]

- ・ 意義なし

[会長]

- ・ それでは、ご了解を得たものとさせていただきます。

### 3. 今後のスケジュールについて

[事務局]

- ・ 本日ご同意をいただいた基本計画案は、11月上旬に桐生市史編さん審議会の代表として会長及び副会長から市長へ答申書としてお渡しいただく予定である。
- ・ この答申を受け、桐生市史編集委員会において最終確認を行い、市長の決裁を経て、『新編 桐生市史』編さん基本計画」として策定される運びとなる。
- ・ 委員の皆様におかれましては、貴重なご意見及びご提案並びに積極的なご審議をいただき誠にありがとうございました。

#### 【主な質疑応答】

[委員]

- ・ 基本計画案3ページの（5）構成と体裁について、特別編は既存の部会の委員が担当をするのか、もしくは新しく専門家を委嘱し刊行するのか。事務局としてはどのように考えているか。
- ・ 特別編について、編集委員がどう動いているか、どのようなものが出来上がるか、私たち審議会委員も知りたいところであるが、その点はどうか。
- ・ 来年度以降も年間2～3回は審議会を行うということによいのか。

[事務局]

- ・ 資料編と通史編は、各部会が目次や採録する資料を決め、どのようにその資料にの

っとして執筆するかを決めていくことになる。一般的には自治体史の編さん過程において膨大な資料を収集するが、資料編や通史編に採録されるものは、その中でも一部にとどまる。というのも、非常に良い資料でも、ページ数の制限や専門的すぎるなどの理由から、資料編・通史編に採録できない場合がある。しかし、特別編において、そのような資料も取り扱うことができる。

- ・そういった観点からも、資料を最もよく知っている各部会の先生に特別編を担当する軸に入っただき、さらに各特別編に必要な専門性を持った研究者の参加も求め、極力漏れの無いように作っしていきたいと考えている。
- ・審議会については、刊行終了の年度までご審議をいただくこととなる。来年度以降の審議会は、調査・研究の取り組み内容や進捗状況についての報告を行い、それに対してご意見やご提案をいただくことを予定している。
- ・来年度以降は、原則として年1回の開催を予定している。今後の調査の進捗状況によって、あるいは、刊行が間近になった段階などにおいては、柔軟に開催することも考えてまいりたい。

#### [委員]

- ・特別編の書名については、決定ではなくまだ柔軟性があると解釈してよいか。特別編は書名が命となる。皆が手に取りやすいようなテーマにしなければ、親しみも湧かない。
- ・年に1冊または2冊の刊行となるのは、予算上の問題か。

#### [事務局]

- ・書名については、刊行スケジュールにおいて、このようなテーマのものが刊行されるということを示すものとお考えいただきたい。
- ・具体的なタイトルについては、編集がまとまってきた段階で審議会においてご確認いただくということでご了解いただきたい。
- ・年に1冊または2冊の刊行スケジュールとしたことは、予算上だけではなく、著述が円滑に進むためのスケジュールでもあることをご理解いただきたい。

#### [会長]

- ・今後のスケジュールということで、いろいろとご意見をいただいた。
- ・特別編の題名についてはある程度可変的なものということであるが、スケジュールのみでなく、基本計画本文にも題名は掲載されている。これについては基本計画として答申された後でも随時変更が可能であると解釈しても良いのか。

#### [事務局]

- ・題名を見直す必要があるということになれば、審議会においてご審議いただいた上でということになるが、変更は可能ということで捉えている。

#### 4. その他

##### [事務局]

- ・今年度の桐生市史編さん審議会について、ご多忙の折、またコロナ禍が未だ収束しない中、委員の皆様方には各回ご出席を賜り、誠にありがとうございました。
- ・本審議会の委員任期は2年となっているため、来年度以降もご審議をいただけますよう改めてお願い申し上げます。
- ・今後の開催については、年1回程度を予定しています。開催時期については、来年の10月頃を予定しています。日程については、決定次第、事務局よりご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

##### 【主な質疑応答】

##### [委員]

- ・前回も意見が出たが、次回以降、20代から30代の活躍している若者を審議会委員として入れていただいたらよいのではないか。

##### [事務局]

- ・現在の委員の任期は2年間となっておりますので、まずは来年度、現在の委員の皆様方での審議をお願いし、次期以降において検討してまいりたい。

#### 5. 閉会

藤森会長及び石原副会長よりご挨拶をいただいた。

以上